



指揮 ^{せきや ひろし} 関谷 弘志

1961年生まれ。1982年、フランス国立ストラスブール音楽院フルート科を卒業。1985年パリ・エコールノルマン音楽院フルート科を卒業。帰国後、大阪センチュリー交響楽団に入団し、2年間フルート奏者を務める。退団後、指揮を志し東京音楽大学指揮科に給費特待生として入学。三石精一、広上淳一の両氏に師事。

また、在学中より外山雄三のアシスタントを務める。1996年同校を卒業。1995年、リスボン国際指揮者コンクール入賞、カトヴィツェ国際指揮者コンクール・ディプロマ賞を受賞。

これまでに、リスボン、メトロポリタンオーケストラ、ハイファシンフォニー（イスラエル）、仙台フィルハーモニー管弦楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、大阪センチュリー交響楽団など、多数のオーケストラを指揮する。

2007年度から大阪府生協連「夏休みファミリーコンサート」指揮を担当。



©s.yamamoto

管弦楽

にほん

こうきようがく だん

日本センチュリー交響楽団

日本センチュリー交響楽団は1989年に活動を開始し、2019年に楽団創立30周年を迎える。現在は50名のメンバーが在籍。飯森範親が首席指揮者を務め、多彩な活動を行っている。ザ・シンフォニーホールでのシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」（いずみ定期演奏会）、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」をはじめ教育プログラムや地域連携事業にも力を入れている。

●オフィシャル・ホームページ
<http://www.century-orchestra.jp/>



オープニング

シュトラウス2世：春の声

オープニングは、音楽の都・ウィーンを代表する世界的にも有名な作曲家、ヨハン・シュトラウス2世のワルツでスタートします！ 当時、音楽の都ウィーンの舞踏会や晩餐会は市民たちの楽しみでもあり、ある晩餐会で結婚を目にしたシュトラウス2世が、即興で作曲したといわれています。

楽器紹介

オーケストラの仲間たち

毎年恒例の楽器紹介コーナー！！ 各楽器の配置や役割を、実際の音を聴きながら、指揮者のトークを交えてご紹介します。普段、触れ合うことが少ない楽器の魅力を知ることができるチャンスです。

生誕250年 ベートーヴェン

ベートーヴェン：『アテネの廃墟』～トルコ行進曲

2020年、生誕250年を迎える世界的にも有名な作曲家、ベートーヴェン。幻想的でドラマティックに演奏される彼の作品のひとつ『アテネの廃墟』。その作品の中に使われる曲として『トルコ行進曲』があります。物語では、アテネがトルコの支配下にある時代で、ギリシャ神話の神々も続々と登場します。ベートーヴェンの壮大な作品を耳にして、かつての時代に想いをはせてみてはいかがでしょうか…。

^{あきら}宮川彬良 編：シンフォニック・マンボNo.5

作曲家やピアニストを始め、音楽演出で有名な宮川彬良氏が、ベートーヴェンの代表作品『運命』と「マンボの王様」キューバのペレス・ブラード楽団の『マンボNo.5』をアレンジし、両極端にあるクラシック音楽とマンボ音楽を融合させたダンス音楽として演奏します！！

休憩20分

フィギュア・スケートの音楽

ロッシーニ：歌劇『ウィリアム・テル』序曲～スイス軍の行進

ロッシーニは、イタリア・オペラの中でも最も人気のある作曲家です。誰でも、一度はこのメロディーを聴いたことがあるのでは。日本を始め、各国のフィギュアスケート選手の演技曲にも選ばれています。トランペットのファンファーレで始まり、ホルン、ティンパニ等の楽器が、曲の流れを変えていきながら、クライマックスに向けてダイナミックさは頂点に達します！

ディズニー映画の音楽

「アナと雪の女王」より Let it go



ディズニー創立90周年記念作品でもあり、アカデミー賞では、「主題歌賞」「長編アニメーション賞」とダブル受賞し、世界的にも大ヒットした、ミュージカル仕立てのディズニー・アニメ映画が『アナと雪の女王』です。その主題歌はエモーショナルな歌声で高らかに歌い上げる『Let it go』。今回はその作品を聴いていただきます。

「アラジン」メドレー

貧しくも純粋な心を持つ青年アラジンが不思議なランプを手に入れることから始まる、ディズニー・アニメ映画『アラジン』。映画史に残る名曲の数々を生み出した『アラジン』のメドレー曲を、迫力満点そしてユーモアたっぷりの演奏で、会場はアラビアンナイトの雰囲気包まれることでしょう。



みんなで歌いましょう

^{よねづ けんし}米津玄師：パプリカ (NHK2020年応援ソング)

「<NHK> 2020 応援ソングプロジェクト」として、オーディションによって選ばれた男女小学生5人のユニット、Foorin（フーリン）が歌う『パプリカ』。米津玄師が作詞・作曲、そしてアレンジした「子どもたちが歌って踊れる応援ソング」で、「未来に向かって頑張っている全ての人を応援するプロジェクト」として製作されました。さあ、みんなで元気いっぱい歌って踊って楽しみましょう！！

ニューイヤーコンサートといえばこれ！

シュトラウス2世：美しき青きドナウ

ニューイヤーコンサートの最後を飾るのは、彼の世界的代表作ともいわれている「三大ワルツ」の中でも一番人気がある『美しき青きドナウ』。ウィーンを首都とするオーストリア共和国の第二国歌といわれるほど国民に親しまれ、この曲を聴かないと新年が始まらないといわれています。ぜひ、みなさんもオーケストラ版『美しき青きドナウ』を聴きニューイヤーを迎えましょう！！